

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年8月16日 (2012.8.16)

【公表番号】特表2011-526930(P2011-526930A)

【公表日】平成23年10月20日 (2011.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2011-042

【出願番号】特願2011-516892(P2011-516892)

【国際特許分類】

C 0 7 C 317/28 (2006.01)

C 0 7 C 323/42 (2006.01)

C 0 7 C 323/41 (2006.01)

C 0 7 C 323/43 (2006.01)

C 0 7 C 323/40 (2006.01)

C 0 7 C 323/60 (2006.01)

C 0 7 C 323/49 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 K 31/19 (2006.01)

A 6 1 K 31/433 (2006.01)

C 0 7 D 285/125 (2006.01)

C 0 7 D 263/20 (2006.01)

A 6 1 K 31/421 (2006.01)

C 0 7 D 211/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/4453 (2006.01)

A 6 1 K 31/44 (2006.01)

C 0 7 D 213/75 (2006.01)

C 0 7 D 233/34 (2006.01)

A 6 1 K 31/4166 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 317/28 C S P

C 0 7 C 323/42

C 0 7 C 323/41

C 0 7 C 323/43

C 0 7 C 323/40

C 0 7 C 323/60

C 0 7 C 323/49

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 37/08

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 11/06

A 6 1 K 31/19

A 6 1 K 31/433

C 0 7 D 285/12 D

C 0 7 D 263/20

A 6 1 K 31/421

C 0 7 D 211/00
 A 6 1 K 31/4453
 A 6 1 K 31/44
 C 0 7 D 213/75
 C 0 7 D 233/34
 A 6 1 K 31/4166

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月27日(2012.6.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

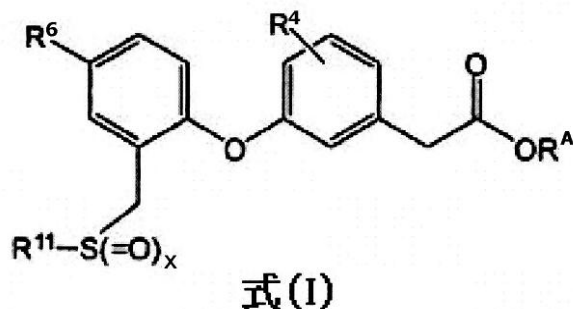
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式(I)の構造を有する化合物、または薬学的に許容可能なその塩であって、
 【化 1】



式中、

R^A は、Hまたは C_1 C_6 アルキルであり；

R^4 は、H、ハロゲン、CN、OH、 C_1 C_4 アルキル、 C_1 C_4 フルオロアルキル、 C_1 C_4 フルオロアルコキシ、 C_1 C_4 アルコキシ、または C_1 C_4 ヘテロアルキルであり；

R^6 は、 $NR^{13}S(=O)_2R^{12}$ 、 $S(=O)_2N(R^{12})(R^{13})$ 、 $N(R^{12})(R^{13})$ 、 $C(=O)N(R^{12})(R^{13})$ 、 $NHC(=O)N(R^{12})(R^{13})$ 、 $NR^{13}C(=O)R^{12}$ 、または $NR^{13}C(=O)OR^{12}$ であり；

R^{11} は、 C_1 C_6 アルキル、 C_1 C_6 ハロアルキル、 C_1 C_6 ヘテロアルキル、 C_3 C_6 シクロアルキル、置換または非置換フェニル、置換または非置換ナフチル、置換または非置換5員ヘテロアリール、置換または非置換6員ヘテロアリール、または C_1 C_4 アルキル (置換または非置換フェニル)であり；

R^{12} は、 C_1 C_6 アルキル、 C_1 C_6 ヘテロアルキル、 C_1 C_6 フルオロアルキル、 C_3 C_6 シクロアルキル、置換または非置換フェニル、置換または非置換ナフチル、置換または非置換ベンジル、置換または非置換6員ヘテロアリール、または C_1 C_4 アルキル (置換または非置換フェニル)であり；

R^{13} は、Hまたは C_1 C_4 アルキルであり；または

同じN原子に付いている R^{12} および R^{13} は、前記N原子と共に、置換または非置換 C_2 C_6 ヘテロシクロアルキルを形成し；および、

xは、0、1、または2であることを特徴とする化合物。

【請求項 2】

R^A は、H、 CH_3 、または CH_2CH_3 であり；および、

R^4 は、H、F、Cl、Br、OH、 C_1 C_4 アルキル、 C_1 C_4 フルオロアルキル、 C_1 C_4 フルオロ

アルコキシ、または C_1 C_4 アルコキシであることを特徴とする、請求項 1 に記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

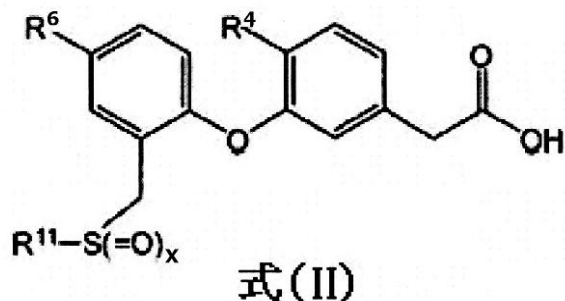
【請求項 3】

R^{11} は、 C_1 C_6 アルキル、 C_1 C_6 ハロアルキル、 C_3 C_6 シクロアルキル、置換または非置換フェニル、または C_1 C_4 アルキル（置換または非置換フェニル）であることを特徴とする、請求項 1 または請求項 2 に記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

【請求項 4】

前記式 (I) の化合物が、式 (II) の構造を有することを特徴とする、請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 つに記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

【化 2】



【請求項 5】

R^4 は、H、F、Cl、Br、 OCH_3 、 CH_3 、 CH_2CH_3 、 $CHCH_2$ 、 CHF_2 、 CF_3 、 $OCHF_2$ 、または OCF_3 であることを特徴とする、請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 つに記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

【請求項 6】

R^{12} は、 C_1 C_6 アルキル、 C_1 C_6 ヘテロアルキル、 C_1 C_6 フルオロアルキル、 C_3 C_6 シクロアルキル、置換または非置換フェニル、置換または非置換ベンジル、または C_1 C_4 アルキル（置換または非置換フェニル）であり；および、
 R^{13} は、Hまたは $-CH_3$ であることを特徴とする、請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 つに記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

【請求項 7】

R^6 は、 $NR^{13}S(=O)_2R^{12}$ 、 $N(R^{12})(R^{13})$ 、 $C(=O)N(R^{12})(R^{13})$ 、 $NHC(=O)N(R^{12})(R^{13})$ 、 $NR^{13}C(=O)R^{12}$ 、または $NR^{13}C(=O)OR^{12}$ であることを特徴とする、請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 つに記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

【請求項 8】

R^{11} は、 C_1 C_6 アルキル、 C_1 C_6 ハロアルキル、置換または非置換フェニル、または C_1 C_4 アルキル（置換または非置換フェニル）であることを特徴とする、請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 つに記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

【請求項 9】

R^4 は、F、Cl、Br、 OCH_3 、 CH_3 、 CH_2CH_3 、 $CHCH_2$ 、 CHF_2 、 CF_3 、 $OCHF_2$ 、または OCF_3 であることを特徴とする、請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 つに記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

【請求項 10】

R^6 は、 $NR^{13}C(=O)R^{12}$ であることを特徴とする、請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 つに記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

【請求項 11】

R^{12} は、 C_1 C_6 アルキル、 C_3 C_6 シクロアルキル、置換または非置換フェニル、または置換または非置換ベンジルであることを特徴とする、請求項 1 乃至 10 のいずれか 1 つに記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

【請求項 12】

R^{11} は、 $-\text{CH}_2\text{CH}_3$ 、 $\text{CH}(\text{CH}_3)_2$ 、 $\text{C}(\text{CH}_3)_3$ 、 CH_2CF_3 、置換または非置換フェニル、 C_1 、 C_2 アルキル（置換または非置換フェニル）であることを特徴とする、請求項1乃至11のいずれか1つに記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

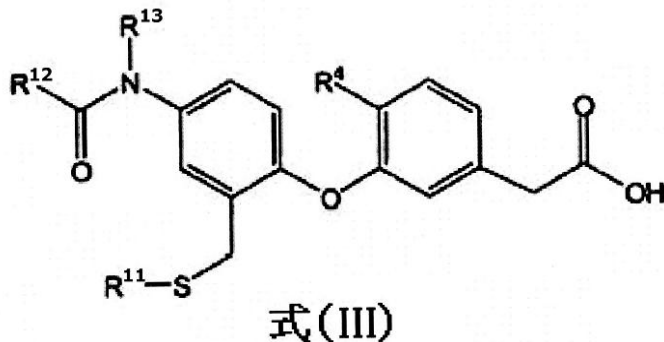
【請求項13】

R^{12} は、 $-\text{CH}(\text{CH}_3)_3$ 、 $\text{C}(\text{CH}_3)_3$ 、 $\text{CH}_2\text{CH}(\text{CH}_3)_2$ 、 $\text{CH}_2\text{C}(\text{CH}_3)_3$ 、シクロプロピル、シクロブチル、シクロペンチル、シクロヘキシル、置換または非置換フェニル、または置換または非置換ベンジルであることを特徴とする、請求項1乃至12のいずれか1つに記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

【請求項14】

前記式(I)または式(II)の化合物が、式(III)の構造を有することを特徴とする、請求項1乃至13のいずれか1つに記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

【化3】



【請求項15】

R^{11} は、 $-\text{CH}_2\text{CH}_3$ 、 $\text{CH}(\text{CH}_3)_2$ 、 $\text{C}(\text{CH}_3)_3$ 、または CH_2CF_3 であり；
 R^{12} は、 $-\text{CH}(\text{CH}_3)_2$ 、 $\text{C}(\text{CH}_3)_3$ 、 $\text{CH}_2\text{CH}(\text{CH}_3)_2$ 、 $\text{CH}_2\text{C}(\text{CH}_3)_3$ 、または置換または非置換フェニルであり；および、
 R^{13} は、Hであることを特徴とする、請求項14に記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

【請求項16】

R^4 は、F、Cl、 OCH_3 、 CF_3 、または OCF_3 であり；
 R^{11} は、 $\text{C}(\text{CH}_3)_3$ であり；
 R^{12} は、 $\text{C}(\text{CH}_3)_3$ であり；および、
 R^{13} は、Hであることを特徴とする、請求項15に記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

【請求項17】

以下から選択される化合物であって、

{3 [4 (4 クロロ ベンゾイルアミノ) 2 (2,2,2 トリフルオロ エチルスルファニルメチル) フェノキシ] 4 メトキシ フェニル} 酢酸(化合物1)；{3 [4 (2,2 ジメチル プロピオニルアミノ) 2 (2,2,2 トリフルオロ エチルスルファニルメチル) フェノキシ] 4 メトキシ フェニル} 酢酸(化合物2)；{3 [4 (3 ベンジル ウレイド) 2 (2,2,2 トリフルオロ エチルスルファニルメチル) フェノキシ] 4 メトキシ フェニル} 酢酸(化合物3)；{3 [4 (4 クロロ ベンゾイルアミノ) 2 (4 クロロ フェニルスルファニルメチル) フェノキシ] 4 メトキシ フェニル} 酢酸(化合物4)；{3 [2 (4 クロロ フェニルスルファニルメチル) 4 (2,2 ジメチル プロピオニルアミノ) フェノキシ] 4 メトキシ フェニル} 酢酸(化合物5)；{3 [4 (3 ベンジル ウレイド) 2 (4 クロロ フェニルスルファニルメチル) フェノキシ] 4 メトキシ フェニル} 酢酸(化合物6)；{3 [2 tert ブチルスルファニルメチル 4 -(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物7)；{3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-(4-クロロ-ベンゾイルアミノ)-フェノキシ]

-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物8); {3-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-イソプロピルスルファニルメチル-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物9); {3-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-(プロパン-2-スルフォニルメチル)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物10); {3-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-(プロパン-2-スルフィニルメチル)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物11); {3-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-(トリフルオロ-エタンスルフォニルメチル)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物12); {3-[4-(3-ベンジル-ウレイド)-2-tert-ブチルスルファニルメチル-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物13); {3-[4-(シクロプロパンカルボニル-アミノ)-2-(2,2,2-トリフルオロ-エチルスルファニルメチル)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物14); {3-[4-イソブチリルアミノ-2-(2,2,2-トリフルオロ-エチルスルファニルメチル)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物15); {3-[4-(3,3-ジメチル-ブチリルアミノ)-2-(2,2,2-トリフルオロ-エチルスルファニルメチル)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物16); {3-[4-(4-クロロ-ベンゾイルアミノ)-2-フェニルスルファニルメチル-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物17); {3-[2-ベンジルスルファニルメチル-4-(4-クロロ-ベンゾイルアミノ)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物18); {3-[4-(4-クロロ-ベンゾイルアミノ)-2-(5-メチル-[1,3,4]チアジアゾル-2-イルスルファニルメチル)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物19); {3-[4-(4-クロロ-ベンゾイルアミノ)-2-イソプロピルスルファニルメチル-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物20); {3-[4-(4-クロロ-ベンゾイルアミノ)-2-(プロパン-2-スルフィニルメチル)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物21); {3-[4-(4-クロロ-ベンゾイルアミノ)-2-(プロパン-2-スルフォニルメチル)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物22); {3-[2-ベンゼンスルフィニルメチル-4-(4-クロロ-ベンゾイルアミノ)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物23); {3-[2-ベンゼンスルフォニルメチル-4-(4-クロロ-ベンゾイルアミノ)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物24); [3-(4-エチルカルバモイル-2-イソプロピルスルファニルメチル-フェノキシ)-4-メトキシ-フェニル]-酢酸(化合物25); {3-[4-(4-クロロ-ベンジルカルバモイル)-2-イソプロピルスルファニルメチル-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物26); (3-{4-[2-(4-フルオロ-フェニル)-エチルカルバモイル]-2-イソプロピルスルファニルメチル-フェノキシ}-4-メトキシ-フェニル)-酢酸(化合物27); {3-クロロ-5-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-(2,2,2-トリフルオロ-エチルスルファニルメチル)-フェノキシ]-フェニル}-酢酸(化合物28); {3-クロロ-5-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-(トリフルオロ-エタンスルフォニルメチル)-フェノキシ]-フェニル}-酢酸(化合物29); {3-クロロ-5-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-イソプロピルスルファニルメチル-フェノキシ]-フェニル}-酢酸(化合物30); {3-クロロ-5-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-(プロパン-2-スルフォニルメチル)-フェノキシ]-フェニル}-酢酸(化合物31); {3-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-(2,2,2-トリフルオロ-エチルスルファニルメチル)-フェノキシ]-5-トリフルオロメチル-フェニル}-酢酸(化合物32); {3-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-(トリフルオロ-エタンスルフォニルメチル)-フェノキシ]-5-トリフルオロメチル-フェニル}-酢酸(化合物33); {3-[4-[(2,2-ジメチル-プロピオニル)-メチル-アミノ]-2-(2,2,2-トリフルオロ-エチルスルファニルメチル)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物34); {3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-(シクロプロパンカルボニル-アミノ)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物35); [3-(2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-イソブチリルアミノ-フェノキシ)-4-メトキシ-フェニル]-酢酸(化合物36); {3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-(3,3-ジメチル-ブチリルアミノ)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物37); {4-メトキシ-3-[4-(2-オキソ-オキサゾリジン-3-イル)-2-(2,2,2-トリフルオロ-エチルスルファニルメチル)-フェノキシ]-フェニル}-酢酸(化合物38); [3-(4-tert-ブチルカルバモイル-2-tert-ブチルスルファニルメチル-フェノキシ)-4-メトキシ-フェニル]-酢酸(化合物39); {3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-(2-オキソ-2-フェニル-エチルカルバモイル)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}

-酢酸(化合物40); {3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-[2-(4-フルオロ-フェニル)-1,1-ジメチル-エチルカルバモイル]-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物41); {3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-(ピペリジン-1-カルボニル)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物42); {3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-(6-メトキシ-ピリジン-3-イルカルバモイル)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物43); {3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-(2,2,2-トリフルオロ-エチルカルバモイル)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物44); {3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-(イソプロピル-メチル-カルバモイル)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物45); {3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-(2,2-ジメチル-プロピルカルバモイル)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物46); {3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-フェノキシ]-5-クロロ-フェニル}-酢酸(化合物47); {3-クロロ-5-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-(2-メチル-プロパン-2-スルフォニルメチル)-フェノキシ]-フェニル}-酢酸(化合物48); {4-ジフルオロメトキシ-3-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-(2,2,2-トリフルオロ-エチルスルファニルメチル)-フェノキシ]-フェニル}-酢酸(化合物49); {4-ジフルオロメトキシ-3-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-(トリフルオロ-エタンスルフォニルメチル)-フェノキシ]-フェニル}-酢酸(化合物50); {3-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-(2,2,2-トリフルオロ-エチルスルファニルメチル)-フェノキシ]-4-メチル-フェニル}-酢酸(化合物51); {4-クロロ-3-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-イソプロピルスルファニルメチル-フェノキシ]-フェニル}-酢酸(化合物52); {4-クロロ-3-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-(2,2,2-トリフルオロ-エチルスルファニルメチル)-フェノキシ]-フェニル}-酢酸(化合物53); {3-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-イソプロピルスルファニルメチル-フェノキシ]-5-トリフルオロメチル-フェニル}-酢酸(化合物54); {3-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-(2,2,2-トリフルオロ-エチルスルファニルメチル)-フェノキシ]-4-ビニル-フェニル}-酢酸(化合物55); {3-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-(2,2,2-トリフルオロ-エチルスルファニルメチル)-フェノキシ]-4-エチル-フェニル}-酢酸(化合物56); {4-メトキシ-3-[4-(2-オキソ-イミダゾリジン-1-イル)-2-(2,2,2-トリフルオロ-エチルスルファニルメチル)-フェノキシ]-フェニル}-酢酸(化合物57); {3-(4-ベンゾイルアミノ-2-tert-ブチルスルファニルメチル-フェノキシ)-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物58); {3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-フェノキシ]-4-クロロ-フェニル}-酢酸(化合物59); {3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-(4-クロロ-ベンゾイルアミノ)-フェノキシ]-4-クロロ-フェニル}-酢酸(化合物60); {3-(2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-イソブチルアミノ-フェノキシ)-4-クロロ-フェニル}-酢酸(化合物61); {3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-(3-フルオロ-ベンゾイルアミノ)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物62); {3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-(4-フルオロ-ベンゾイルアミノ)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物63); {3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-(2-フルオロ-ベンゾイルアミノ)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物64); {3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-(2,4-ジクロロ-ベンゾイルアミノ)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物65); {3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-(3,5-ジクロロ-ベンゾイルアミノ)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物66); {3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-(3,5-ジフルオロ-ベンゾイルアミノ)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物67); {4-メトキシ-3-[2-(2,2,2-トリフルオロ-エチルスルファニルメチル)-4-(3-トリフルオロメチル-ベンゾイルアミノ)-フェノキシ]-フェニル}-酢酸(化合物68); {4-メトキシ-3-[2-(2,2,2-トリフルオロ-エチルスルファニルメチル)-4-(4-トリフルオロメチル-ベンゾイルアミノ)-フェノキシ]-フェニル}-酢酸(化合物69); {4-メトキシ-3-[4-[(ピリジン-3-カルボニル)-アミノ]-2-(2,2,2-トリフルオロ-エチルスルファニルメチル)-フェノキシ]-フェニル}-酢酸(化合物70); {4-メトキシ-3-[4-[(ピリジン-4-カルボニル)-アミノ]-2-(2,2,2-トリフルオロ-エチルスルファニルメチル)-フェノキシ]-フェニル}-酢酸(化合物71); {3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-(5-

ジメチルアミノ-ナフタレン-1-スルホニルアミノ)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物72)；{3-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-(2-メチル-プロパン-2-スルフィニルメチル)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物73)；{3-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-(2-メチル-プロパン-2-スルホニルメチル)-フェノキシ]-4-メトキシ-フェニル}-酢酸(化合物74)；{3-[2-tert-ブチルスルファニルメチル-4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-フェノキシ]-4-ヒドロキシ-フェニル}-酢酸(化合物75)；および{3-[4-(2,2-ジメチル-プロピオニルアミノ)-2-(2-メチル-プロパン-2-スルフィニルメチル)-フェノキシ]-4-ヒドロキシ-フェニル}-酢酸(化合物76)から選択されることを特徴とする、化合物または薬学的に許容可能なその塩。

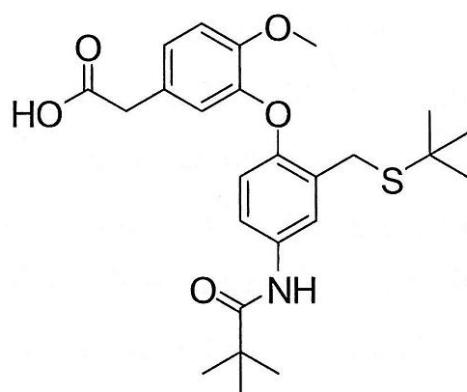
【請求項 18】

前記薬学的に許容可能な塩はナトリウム塩であることを特徴とする請求項 1 乃至 17 のいずれか 1 つに記載の化合物。

【請求項 19】

前記化合物が以下の構造を有する請求項 1 に記載の化合物、または、その薬学的に許容可能な塩。

【化 4】



【請求項 20】

前記薬学的に許容可能な塩がナトリウム塩であることを特徴とする請求項 19 に記載の化合物。

【請求項 21】

治療上有効な量の請求項 1 乃至 20 のいずれか 1 つに記載の化合物、または薬学的に許容可能なそれらの塩、および、薬学的に許容可能な希釈剤、薬学的に許容可能な賦形剤、および薬学的に許容可能な担体から選択される、少なくとも 1 つの薬学的に許容可能な不活性成分を含むことを特徴とする、医薬組成物。

【請求項 22】

前記医薬組成物は、静脈注射、経口投与、吸入、経鼻投与、局所的投与、経眼投与あるいは経耳投与のために処方されることを特徴とする、請求項 21 に記載の医薬組成物。

【請求項 23】

前記医薬組成物は、錠剤、丸剤、カプセル剤、液剤、吸入剤、鼻内噴霧溶剤、坐薬、懸濁剤、ゲル剤、コロイド剤、分散剤、懸濁剤、溶剤、エマルション、軟膏、ローション剤、点眼剤あるいは点耳剤であることを特徴とする、請求項 21 に記載の医薬組成物。

【請求項 24】

プロスタグランジンD₂によって媒介された疾患または疾病を処置する際に使用するための、請求項 1 乃至 20 のいずれかに記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

【請求項 25】

哺乳動物において、気管支疾患若しくは疾病、アレルギー性疾患若しくは疾病、または炎症性疾患若しくは疾病を処置する際に使用するための、請求項 1 乃至 20 のいずれかに記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

【請求項 26】

哺乳動物において喘息を処置する際に使用するための、請求項 1 乃至 20 のいずれかに記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

【請求項 27】

哺乳動物において慢性閉塞性肺疾患（COPD）を処置する際に使用するための、請求項 1 乃至 20 のいずれかに記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

【請求項 28】

哺乳動物においてアレルギー性鼻炎を処置する際に使用するための、請求項 1 乃至 20 のいずれかに記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

【請求項 29】

哺乳動物においてアトピー性皮膚炎を処置する際に使用するための、請求項 1 乃至 20 のいずれかに記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

【請求項 30】

哺乳動物においてアレルギー性結膜炎を処置する際に使用するための、請求項 1 乃至 20 のいずれかに記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。

【請求項 31】

哺乳動物において好酸球性食道炎を処置する際に使用するための、請求項 1 乃至 20 のいずれかに記載の化合物または薬学的に許容可能なその塩。